

下肢静脈瘤センター

のご紹介

・下肢静脈瘤とは？

下肢静脈瘤とは足の血管がふくれてこぶの様になる病気です。

重症になると、色素沈着や湿疹ができたり、皮膚が破れたり(潰瘍)、出血をおこす場合もあります。



下肢静脈瘤の症状

- 足の血管が浮き出ている、目立つ
- ふくらはぎがだるい、重い、痛い、疲れやすい
- 足がむくみやすい
- 足の血管がふくらんでいる、熱くなる
- 寝ているときに足がつる
- など

下肢静脈瘤になりやすい人

- 家族に下肢静脈瘤の人がいる
- 立ち仕事の人
- 肥満や運動不足の人
- 妊娠・出産を経験した女性
- など

・体に負担の少ない治療法を導入しています

初診日に超音波検査を実施するため、今後の治療方針がその日に決まります。血管内治療が出来ない場合でも、患者さまに沿った治療法を提案させていただきます。

手術療法

グルー治療(接着剤による治療)

静脈の中に専用の接着剤を注入してふさぐ方法です。

痛みが少なく、神経障害などの合併症がおこりにくいとされています。一か所の局所麻酔でできるため体への負担も少なく、治療後の運動や生活に制限がありません。日帰りでの治療もできますので、**お休みがとりにくい方や高齢の方**に適しています。

使用する治療器機「VenaSeal™ クロージャー システム」

世界一厳格な基準を持つFDAに認可された下肢静脈瘤専用の接着剤を使用します。



クロージャー システムの証明書

信頼と実績があり、所定のトレーニングを受けた認定医のみ施術が可能な治療です。



裏面で他の治療法や、対応する医師などをご紹介しています。>>>

手術療法

血管内治療

膝の周辺から針を刺して、カテーテルを挿入します。高周波カテーテルから放出される熱により静脈の壁を収縮させ閉塞させてしまう治療法です。

手術療法

ストリッピング手術

太ももの壊れた静脈自体を取り除きます。小さな傷がつきますが、取り除いた場所からの再発が少ないのが長所です。事前に超音波検査を行い、脚の静脈情報を得てから手術を行います。

圧迫療法

壊れている弁のかみ合わせを改善し、筋肉のポンプ作用を増強することによりうっ滯を取り除く治療法です。医療用のストッキングを履くだけで、症状の改善や進行を抑えることができます。

硬化療法

硬化剤という薬を静脈に注射し静脈瘤をつぶしてしまう方法です。小さな静脈瘤に有効で、外来で気軽に行えます。

・「下肢静脈瘤センター」について

血管外科治療を専門に行っている**血管外科医**が治療を実施します。当院は、日本脈管学会認定研修施設で、様々な検査機器を用いて治療を行います。また、「下肢静脈瘤に対する血管内焼灼術」の実施認定施設です。

医師のご紹介

とう はら たか ゆき
東原 宣之

卒業校:帝京大学
(平成15年卒業)



・外来診察日

外来受診は**完全予約制**となっております。
症状が気になる方、ご心配な方など、お気軽にご相談ください。

	月	火	水	木	金	土
血管外科	午前			△ 要相談		
	午後	○		○		



IMS(イムス)グループ 医療法人財団 明理会

イムス富士見総合病院

TEL.049-251-3060(病院代表)

〒354-0021 埼玉県富士見市鶴馬1967-1

★東武東上線「鶴瀬駅」「ふじみ野駅」より
無料送迎バスあり

